

ベトナム電力公社、再エネ発電所と価格合意成立

2025 年 4 月 24 日 作成

カテゴリー ベトナム市場調査 環境 再生可能エネルギー

ベトナム電力公社、再エネ発電所と価格合意成立

2024 年 4 月、ベトナムの電力会社である Công ty cổ phần Điện Gia Lai (GEG) は、ベトナム電力公社 (EVN) と風力発電所「Tân Phú Đông 1」に関する売電価格で合意した。これは、移行中の再生可能エネルギー案件の中で最初に EVN と価格合意に達した案件であり、今後の業界全体の進展に重要な前例を提供するものである。

Tân Phú Đông 1 は 2023 年 6 月より稼働しているが、政府の固定買取制度 (FIT) 適用期限に間に合わず、2021 年から 2022 年に建設された 85 件の移行プロジェクトの一つであった。今回合意された売電単価は 1,813 ドン/kWh で、仮価格の約 2 倍に相当し、陸上風力発電の上限価格 (1,816 ドン) に極めて近い水準である。また、過去 2 年間の発電分に対する約 3970 億ドン (約 24 億円相当) の遡及的支払いも含まれている。

この合意により、GEG の財務指標が大きく改善される見込みである。VIS Rating によれば、EVN からの遡及支払いによって GEG の 2025 年の $N\phi$ /EBITDA 比率は 5.2 倍から 3.9~4.2 倍に低下し、営業キャッシュフロー対負債比率も 10% から 14~16% に上昇する見込みである。

本件の契約は単なる価格合意にとどまらず、発電量、損失許容範囲、投資総額、その他の財務指標に関する包括的な条件も含まれている。これは、他の移行再エネプロジェクトにも価格交渉加速の機会を提供することが期待されている。

2025 年 3 月時点で、再生可能エネルギーの移行案件に関連する企業による社債元利金の遅延は全体の 90% (約 1 兆 9,000 億ドン) にのぼり、業界全体のデフォルト率は 40% に達している。今回のような価格合意は、資金繰り改善と社債市場の健全化に向けた一歩として注目される。

以上